

**不具合事例**

整理番号 C-01-012

タイトル	土壌ガス試料採取時の外気の混入！		
工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center;">「測定しているのは土壌ガス？」</p>		
作業内容	土壌ガス採取、地下水採取、現地分析		
使用機器	ガスクロマトグラフ (GC-PID、GC-FID、GC-ECD、GC-ELCD、GC-MS)		
<b>不具合事項</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>土壌ガス調査を実施した際に、保護管と試料採取孔の隙間の気密性が充分でなかったために、使用されていた発電機等の排気ガスが採取した土壌ガス試料中に混入し、ベンゼンなどの履歴のない成分を検出した。このため、試料採取および現地分析をやり直すこととなった。</li> </ul>			
<b>予防措置(計画者・監督者・作業員)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>発電機等の設置場所は、試料採取地点に影響のない場所を選定する。(計画者)</li> <li>試料採取孔と保護管の密閉状態を確認し、気密性を確保して作業を行う。(監督者・作業員)</li> <li>外気中に分析対象成分が検出されるおそれがある場合には、試料採取を中止し、検出されない時期を選んで試料採取を行う。(監督者・作業員)</li> </ul>			
<b>応急措置</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>試料採取のやり直しを行う。</li> </ul>			
<b>その他、留意事項</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>保護管の性能等について「・・・管頭をゴム栓、パッカー等で密栓することが出来るもの。これを採取孔内に採取孔(舗装面を削孔して設置した採取孔にあっては、舗装面を含む。)と保護管との間を気体が通過しないように密閉して設置する。」とある<sup>1)</sup>。</li> <li>周辺からの影響を受ける可能性がある場合には、バックグラウンド値として、試料採取地点周辺の外気中に対象物質が含まれていないか、念のために測定をしておく。(監督者・作業員)</li> </ul>			
関連法規等、出典	1) 土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン暫定版 Appendix-5_1		
キーワード	土壌ガス調査、試料採取		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル

表層土壌ガス試料採取時の外気の混入！

説明図



作業内容

土壌ガス採取、地下水採取、現地分析

指示事項

- ・発電機等の設置場所は調査に影響のない位置を選定する。
- ・試料採取孔と保護管の気密性の確保を確認して作業を行う。
- ・保護管のゴム等に消耗・劣化等がないかを確認する。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

本日の重点施策

ヨシ!!

サイン